

部長	理事	課員	担当者

議 事 録 要 旨

会議名	第3回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
日 時	令和元年6月24日(月) 19:30~22:00
場 所	あわらし役所 101 会議室
出席者	<p><部会員> 市民/笹原修之(部会長)、西田幸男、八木康史 福井工業大学/川島洋一(教授) (一社)あわらし観光協会/津田香由紀 あわらし文化協議会/堀田あけみ あわらし商工会青年部/松川秀仁 花咲ふくい農業協同組合/唯内 努、山口利志実 芦原温泉旅館協同組合/山口賢司 音泉組/青柳淳一 農家カフェ/藤井和代 あわらしコミュ/圓道千鶴子 ゲンキッズステーション ASOVIVA!/長田康秀</p> <p><事務局> 新幹線まちづくり課/永井理事、翠補佐、赤神主任 商工労働課/中島補佐 観光振興課/堀江課長、細川補佐、杉本主事</p> <p><オブザーバー> あわらし/佐々木市長 (株)木下設計/木下貴之、片山雅哉 (株)コム計画研究所/鈴木奈緒子</p>
欠席者	<p><部会員> 市民/高木めぐみ、森嗣一郎</p>
内 容	<p>1 開 会 2 部会長あいさつ <u>部会長:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回会議の説明や、すでに公開されている情報もあり、どのような駅前になるかについて情報共有ができていと思う。今年度のデザイン部会のあり方として、後々できあがってから後悔しないように設計前の段階で細かいところまで情報共有を行うということを念頭に、この数か月間走っていきたいと思う。 ・本日の会議にあたっては、事前課題として「貴部会員(団体)としてできそうな賑わい広場の利活用方法」の質問があったが、マンパワーが必要なのか、予算が必要なのかと

いう問題はあるものの、実現していけるように協議するための会議として進めていくために、忌憚のないご意見をお願いしたい。

市長：

- ・自分だったらこういうことをやるというプレーヤー目線のご意見をお願いしたい。

3 協議事項

(1) 西口駅前広場の利活用の検討について

事務局：

- ・平面図を基に、西口駅前広場の概要を説明

事務局：

- ・ここからは、事前課題として提出してもらった「西口駅前広場（賑わい広場）利活用検討シート」の回答内容を基に協議を行いたい。部会長から順に提案内容（「1. 貴部会員（団体）としてできそうな賑わい広場の利活用方法」）を説明いただき、それについてのご意見を部会員の皆さんからお願いしたい。

部会長：

（提案内容）

- ・職業体験フェス（商工会青年部）※商工フェスタで実施している事業
- ・金津祭展示会（金津祭保存会）
- ・各種イベントの誘致

事務局：

- ・金津祭展示会は、山車の休憩時間に展示するという意味なのか。あるいは、施設内で一定期間展示するということか。

部会長：

- ・観光客に見せたい思いもあるが、各地区によって山車が駅前を巡行する時間が異なることから、この時間に来れば山車が見れるということは難しい。というよりは、祭りが近づくにつれて、昔の祭りの写真を展示すれば、地元の人が駅前に足を運ぶのではないかという意味合いが強い。金津の街中は金津祭を誇りに思っている人が多いため、大人だけでなく小さな子どもたちにも来てもらうことで未来につながっていく話になると思う。

事務局：

- ・山車については、一定期間の展示ではなく、巡行の休憩時間に山車を見ることができるといふ理解でよいか。

部会長：

- ・そのとおりである。観光客にも見てもらえるような運用を各地区にお願いしているところである。

市長：

- ・金津祭だけでなく、市内の他の祭りやイベントについても開催前に告知やPRができるコーナーとして設けられるようにしたい。そのために、例えば、横断幕が付けられるような設備にするなどの検討も必要である。また、終わった後にイベントの風景を展示できるような仕組みもつくりたい。

- ・各種イベントの誘致とは、どのようなイベントを想定しているのか。

部会長：

- ・団体に属していない人たちがイベントをしたいという話を受けることがある。そのような人たちが活躍できる場があるとよいという意味である。食に関するイベントが多いように思う。

市長：

- ・イベントを誘致するために、またイベントを実施する上で、そのような人たちの相談を受ける体制（相談窓口）も必要であろう。

部会長：

- ・どのイベントにも共通して必要となる垂れ幕や看板等の設えは必要だと思うので、箇条書きで明確にしていた方がよい。

部会員：

- ・料金を徴収するかは別にして、簡易ステージやパイプ椅子等の備品が数量も含めて提示してあると、イベントする側もやりやすい。

市長：

- ・イベントに応じてステージの規模や椅子の並べ方も違うと思うので、皆さんからいただいた意見を基に検討していきたい。料金については、儲けが発生するイベントであれば徴収し、子どもたちのイベントは減免するなどの検討も併せて行っていく。

部会員：

(提案内容)

- ・定期的な朝のラジオ体操のような健康イベント
- ・常設の移動販売車（昼はドリンクやスイーツ、夜はラーメンやおでん等）

市長：

- ・朝のイベントを行う雰囲気はどうつくっていくかを考えなければいけない。例えば、今のうちから、竹田川に行けば体操をしている、ジョギングしているといったことを印象付けることも策としてはあり得る。このようなことは他の駅にはないと思う。また、駅前の一角に屋台を設け、チャレンジショップとして運用すれば、賑わいの一助になるであろう。

部会員：

(提案内容)

- ・観光協会としてはイベントを実施していないが、会員に利用条件規定を添えて利用案内は可能
- ・観光協会で湯のまち広場（屋外）の指定管理を受けいろんな方にイベントをやってもらっているが、屋外は無理だが（賑わい広場のような）屋内スペースならできるという意見もあるので、利用規定を設けて整理整頓するとよいと思う。

市長：

- ・会員あてに利用案内は可能とあるが、観光協会としても、協会の会員さんのアイデアを業種ごとに取りまとめて、駅前が盛り上がるような支援を行ってほしい。

部会員：

(提案内容)

- ・各団体・個人の発表会の練習の場、展示会、お茶会等
- ・音や温度の問題など、備え付けられている設備でできることは限られてくると思う。
- ・小松駅では、祭り会場で子どもたちが太鼓の練習を行っていて、賑わい広場も子どもたちに太鼓を教える場として活用できれば、それを見に来る人たちがいてまちの活性化につながるのではないかと感じた。
- ・昼間であれば、お茶会とか花の展示会場としても活用できると思う。

市長：

- ・文化協議会として、春の祭りや秋の祭りなど、賑わい広場で定期的に開催できるイベントができるとういと思う。

部会員：

- ・a キューブができたときに、月1回の定期的なイベントを企画したことがあったが、踊りをしようにも着物に着替える控え室がないなどの問題があり、結果として展示やギター演奏など、できる催しが限られてしまった。

事務局：

- ・賑わいホールの2階に控え室を計画している。

部会員：

(提案内容)

- ・日本酒フェスト ※商工会青年部で実施
- ・地元ミュージシャンによるライブイベント
- ・地元ダンサーによるダンスイベント ※ストリートダンス、ダンスバトル
- ・ストリート系スポーツの大会・イベント
※スラックライン、3 on 3、フリースタイルフットボール、スケートボード (ランプ)
- ・物産市 ※FM福井のパン祭り

部会員：

- ・スケートボードは、オリンピックの正式種目になるほど人気があり、小松駅(高架下)やふくい健康の森でやっているのを見ても非常によいと思う。音や安全対策等のルールを決めて誘致するのであれば、十分実現できると思う。

市長：

- ・常設では難しいので、イベントとして実施できるとよい。

部会員：

- ・もちろん常設は難しい。BMXもおもしろいと思う。

部会長：

- ・若い人を集めるイベントはBGMも騒がしい感じになるので、慣れないうちは苦情もあるかと思うが、商店街にお金が落ちる仕組みができれば理解も得られると思う。

部会員：

- ・先週、鯖江駅前で音楽イベントを実施したが、雨天にもかかわらず多くの人が集まった。昨年から実施しているが、商店街がイベントをバックアップし、演者は近くのビジネスホテルに泊まるといった形でうまく回っているのだと思う。

市長：

- ・a キューブでやっている音楽イベントを賑わい広場で実施できるとよいと思う。

部会員：

- ・駅前で音楽フェス等で大きな音を出しているところはあるのか。ないのであれば、それができれば大きな売りになると思う。

市長：

- ・音響については、基本設計でどこまでを決めるのか。

オブザーバー：

- ・基本設計では、どんなイベントをやるのか、どれくらいの音響のレベルを想定しているのかを把握してある程度まで決めて、実施設計で細かな音響設計に入っていく。ハピテラスでは、外への騒音対策として、1つの大きなスピーカーではなく複数台の小さなスピーカーを柱に設置して横や下に向けて小さめの音で出すなどの工夫をしている。賑わい広場の場合は、住民との距離が近いのでハピテラスのようにするか、ライブなどを行う場合は別途スピーカーを用意する必要があるであろう。

部会員：

- ・音楽イベントを行う場合には、施設に備え付けのスピーカーは使わずに、自分たちで用意するのが通常である。

部会員：

- ・a キューブで音楽イベントをしたときに、地元からのクレームはあったが、夜なのにそれほどクレームだと感じなかったのはジャズだったからだと思う。他の音楽だと、曲ではなくてただの騒音にしか聞こえないからクレームが大きくなるのであろう。歌を歌っているのかカラオケ大会をしているのかわからない状態で音が漏れているだけだと感じるのだと思う。

部会員：

- ・騒音問題はあるかもしれないが、駅前でサークルができるようなライブをすれば本来の盛り上がりになるのだと思う。

部会員：

- ・最初は、音を出せる場所だという認識を持ってもらうことから始めなければいけない。

部会員：

(提案内容)

- ・そば打ち大会 ※そば打ちの聖地化
- ・農畜産グルメフェスタ ※過去に三国で実施

部会員：

(提案内容)

- ・メロンまつり (福井市より 300 万程度助成、人件費が出ていない、あくまでメロンのPR)
- ・新そばまつり (費用ばかりで収益性がなく、JAの立場としてお願いしますとは言えない)
- ・素人だが女性部の展示会なら可能か。 ※手芸教室等

市長：

- ・メロンまつりは、生産者が主体となって開催できるとよい。マルシェや軽トラ市も同様に、生産者が自分でつくったものに対する消費者の感触を肌で感じてもらえる場として

開催できるとよい。

- ・魅力体感スペースでも坂井北部丘陵地で採れた野菜やフルーツをPRしたいと考えている。
- ・そば打ちの聖地化は、会場の規模的に難しいのではないかな。

部会員：

- ・そばをテーマとしたイベントを開催するとよいと思う。

部会員（福井工業大学教授）：

- ・地域ブランド推進の取組として行っている「あわらむすび」をここで展開してはどうか。おむすびの聖地化であれば実現可能だと思う。例えば、全国公募でおむすびのアイデアをコンペして、優勝者にあわらに来てもらうなどのイベントを毎年実施するなど。

市長：

- ・あわら市出身の大宮千絵さんの取組（おにぎりアクション）とタイアップできると、効果は大きいと思う。

部会員：

- ・生産者の立場として、商品化できないスイカを使ったスイカ割りをイベント化するとおもしろいと思う。
- ・旅館の中には、フルーツカービングの技術を持っている料理人の方もいるので、地元の食材を使って芸術的なものを競うようなことができるとよい。

部会長：

- ・JAさんには販売以外にもこういったアイデアを形にしてPRしていただきたいし、そういった周囲の期待も大きいと思う。

部会員：

- ・JAさんの中には野菜ソムリエの資格を持っている人たちもいると思うので、協力してもらえるとよいと思う。

部会員：

（提案内容）

- ・あわら温泉 女将の酒まつり（女将の酒 完成お披露目会）
- ・地産地消フェア・ファーマーズマーケット（地元の農産物&食育）
- ・キッズフリーマーケット（子どもも参加したりサイクル運動）
- ・坂井市との連携による物産展示・販売会（周辺市町を含めた広域的な物産展）
※あわら市は福井県嶺北観光の拠点、交流人口拡大
※日本海の海の幸とフルーツなど
- ・A級グルメフェア（安全性の高い食材を使った伝統料理）
- ・ちはやふるとのタイアップイベント（物販、かるた大会、袴姿であわらのまち巡り）
- ・お祭り&縁日フェア（懐かしい地方の伝統・インバウンド向けにも効果）
- ・ビールフェスタ、ワインフェスタ
- ・冬場のイルミネーション（冬季対策）
- ・マスコミと連携した各種イベント（販促効果大）

市長：

- ・広域連携では、あわら市だけではなく、近隣市町の特産物を軽トラで売ったりできると

よいと考えている。郡上や大野でもこのような取組は行われている。

部会員：

- ・365日イベントを開催することはできないので、イベント開催時以外の憩いの場づくりとしてプランターベンチを設置したり、子どもの遊具広場を常設して親子連れによる日中の賑わいを創出したり、誰もが気軽にお店を出せるように常設のフードコートもあるとよい。
- ・「賑わい広場」はいかにも行政的な感じがするので、ネーミング・愛称を付けるとよいのではないか。

市長：

- ・愛称募集は行う予定である。

部会員：

- ・土日のイベントをするにしても、部会のメンバーが全部取り仕切って運営することは現実的に難しく、イベントの運営や維持管理等も含めて全体的にプロデュースするまちづくり会社などの検討も必要であろう。

市長：

- ・施設のマネジメントについては、別組織の検討も必要である。

部会員：

- ・人の流れを分断しないためにも、駅前商店街との連携も重要だと思う。人の流れを生むためには2核1モールが定説なので、金津の商店街がかつて宿場町として栄えた背景を生かして、鬼平江戸処（羽生PAにある宿場町風の商業施設）のような施設が商店街にあって広場でイベントを行うと回遊性が生まれてよいと思う。イベントは、やるのが目的ではなく、物販や集客や観光誘客などの相乗効果を生み出すことに意義があると思う。

部会員：

- ・軽トラで生産者が直売する話があったが、いつ売られているかわからない状況で人が来てくれるか懸念される。コンビニは常に空いていてそこに買いたいものがあるから人が来るのだと思う。常にあるという意味では、きららの丘も同様に人が来ている。

市長：

- ・旬の時期にいろんな手法でイベントを打つことで人は来ると思う。そのためには時間がかかるかもしれないが、定期的にイベントを行って定着化させることが大切である。

部会員（福井工業大学教授）：

- ・私の教え子で、採れたての卵を10個400円で販売している人がいる。普通なら100円で買えるものを“採れたて”を売りにすることで都会の人が買ってくれる。他にも、りんご農家で、インターネットで“今日採れたりんごを明日届けます”を売りに商売をしている例もある。皆さんにとっては当たり前のことでも都会の人にとっては憧れとなっている、まさに“あわら贅沢”である。そういうことで売っていくことでまち全体のブランド独自価値は上がっていくと思う。

部会員：

- ・大手コーヒーショップのコーヒーよりもあわらで採れたてのジュースが飲める方が付加価値が高いと思う。

部会員（福井工業大学教授）：

- ・コーヒーでも、あの人のこだわりのコーヒーを飲みたいと言って地方まで足を運ぶ時代である。本物志向を求めているので、そこに乗られるとよい。

部会員：

（提案内容）

- ・ライブビューイング、コンサート
- ・電車の時間に合わせてイベントを開始することで駅利用者の参加を促すことができるし、イベントに飲食コーナーを盛り込めば余裕を持って出掛けて食事を楽しめていい時間を過ごせると思う。
- ・イベントであわらむすびを出店できるとよいと思う。子ども連れのお母さんにとっては便利に使ってくれるものであるし、時間がない時にもおにぎりなら気軽に食べられるのでいいツールだと思う。

市長：

- ・あわらむすびを芦原温泉駅の駅弁にしたいと考えている。商工会等とも連携して今後検討していきたい。

部会員：

（提案内容）

- ・無料体験イベント（スラックライン、TRX、アダプテーション）月1回開催
- ・スポーツリズムトレーニング体験会
- ・遊びイベント+子ども・スポーツ育成講習講演会
※世界ゆるスポーツ協会（手錠バレー、スポーツかるた等）

事務局：

- ・例えば、リズムトレーニングを行うときに、マットや人工芝が必要なのか。

部会員：

- ・そのとおりである。安全性を確保するために必要なものである。

事務局：

- ・利活用検討シートの「2. 西口駅前広場（賑わい広場）を利活用する際に必要な機能」について、事務局から何点か質問したい。
- ・まず、小型発電機、コンプレッサーなど移動できるものはどのようことに必要となるのか。

部会長：

- ・いろんなイベントに共通して必要なレンタル品であるため、備品としてあると便利である。

事務局：

- ・小型発電機と電源は違うのか。

部会長：

- ・aキューブでは、外の配電ボックスから延長コードで電源を取ると電圧が落ちるなどの不具合が生じるが、そのようなことはないのか。

事務局：

- ・コンサートに必要なアンプ等の大きな電力については、何箇所か点在して電源ボックス

を設置すれば対応できると思う。設置位置については、今後検討したい。

事務局：

- ・各イベント用の什器を置く場所というのは、どういうことか。

部会員：

- ・イベントをする際の机や椅子や簡易な屋台等を収納しておくスペースのことである。

事務局：

- ・映画祭で使えるスクリーンについて、200 インチのモニターを予定しているが、それとは別にスクリーンが必要なのか。ちなみに、ハピテラスのモニターは 300 インチである。

部会員：

- ・モニターがどのようなものを予定しているのかわからなかったので、スクリーンと記載した。モニターがあるのであれば代替えできると思うし、現在は室内でやっているの、そこまで大きなものは必要ないと思う。

事務局：

- ・ロールバックチェアスタンド（電動式移動観客席）は、どのように使用するのか。

部会員：

- ・壁に収納できる観客席のことである。催しを一つするにも年齢層が高く、自分たちで椅子を用意したりするもの大変なので、あると便利だと思い提案した。

事務局：

- ・県営体育館や国際交流会館にあるようなイメージか。

部会員：

- ・そのとおりである。予算もかかることなので、あくまで希望である。

事務局：

- ・収納するための分厚い壁を設けることは難しいであろう。

部会員：

- ・平常時の使い方は、何も置かないのか、駅利用者が待合いをできるような設えとなっているのか、それによって置けるものが違ってくると思う。

事務局：

- ・先ほど提案のあったプランター付きのベンチなどを置くことは必要だと思う。そうすれば空間を広く使いたいときにも簡単に移動できて使い勝手がよいと思う。

部会員：

- ・アップライトのピアノを置いて自由に使ってもらうようなこともよいと思う。

事務局：

- ・ステージ（普段はベンチ）と簡易テントは、どのように使う想定なのか。

部会員：

- ・ステージは、福井市中央公園にあるものをイメージしている。普段はベンチとして使用されているが、全部集めると 7 k × 7 k（高さ 45 センチ）ほどのステージになるものである。ベンチは重たいが、専用の油圧の台車があって簡単に運べるので便利である。ハピテラスや a キューブにも簡易ステージはあるが、ぐらついて危険なこともある。そのベンチ型のステージは、そういうことはないし、人工芝のマットやリノリウムの床を敷くことでいろんなイベントに使うこともできる。

- ・簡易テントは、物販等のイベント時に使うものを想定している。例えば、ワゴンセールをするにしても、ワゴンだけが並んでいたり、2 k × 3 k のテントでは殺風景であるし、見た目をよくする工夫が必要だと感じている。
- ・自身の経験から、イベントの告知用に、デジタルサイネージのようなもので、週末のイベント情報やタイムテーブルを提示できるものがあるとよいと思う。ビジョンに映すのもよいが、駅を降りた人がすぐ目にできると効果が大きいと思う。エルパにもあるような移動式のものだと使い勝手もよい。

事務局：

- ・デジタルサイネージは予定している。固定式か移動式かは今後検討したい。

事務局：

- ・排煙設備は、どのようなことを想定して必要なのか。

部会員：

- ・肉フェスなど、焼き物をする際に煙や熱を逃がすのに必要だと思って提案した。

オブザーバー：

- ・予算に応じてだが、設置は可能である。

部会員：

- ・屋根までの高さはどれくらいか。

オブザーバー：

- ・地上から9メートルくらいである。2階建ての屋根くらいの高さである。

部会員：

- ・ガラスの壁は、どのくらいの高さか。

オブザーバー：

- ・地上から3メートルくらい開けようと思っている。

市長：

- ・開けすぎると寒い時期に冷え込むこともあるので、ハピテラスよりは下げた方がよいのではないか。

事務局：

- ・下げすぎると逆に風が吹き込むこともあるし、開放感がなくなることも懸念される。

市長：

- ・風については、周辺の建物の影響もあると思う。

オブザーバー：

- ・風除けのために木を設けたりすると、閉鎖的な感じになることもある。周りから見て何をやっているかわからないのでは意味がないと思う。

部会員：

- ・風が強いときは、ホールでイベントを行うのが普通ではないか。開放的な方が都会的でよいと思う。

事務局：

- ・映える展示スペースとは、どういうことか。

部会長：

- ・中央公民館にあるような穴開きの展示パネルが並んだスペースではなく、仮設だけで見

栄えがよいものという意味である。

事務局：

- ・展示物をライトアップするようなことも考えているのか。

部会長：

- ・スポットライトで当てるなど、何かしら魅せる仕掛けは必要だと思う。

事務局：

- ・埋め込みのアップライトが必要であれば固定した展示スペースになるであろうし、そのあたりの意見をいただきたい。

部会長：

- ・ステージも固定でないとすれば、展示スペースも固定ではないのであろう。そうなると、埋め込みのアップライトは難しいであろう。

事務局：

- ・LED簡易照明もそのようなイメージでの提案か。

部会員：

- ・そのとおりである。展示の演出策として、LEDであれば色も変えられるし安価である。移動できる簡易照明だと使いやすい。

部会長：

- ・観光案内所の位置だが、秋から冬にかけて、西日が強く、中にあるものが日焼けしてしまわないか懸念される。

オブザーバー：

- ・木材の変色防止については、塗装で対応できると思う。中については、ガラスにフィルムを貼ることで対応できるかと思うが、透明感が失われてしまうことが懸念される。先ほど話にあった開放感の問題や、周囲の建物が今後どうなるかなどを踏まえて慎重に検討していきたい。
- ・ホール内でコンサート等の有料イベントを行うのであれば、現在の平面図にあるようなオープンスペースはつukれない。有料イベントを行うのであれば、例えば、ガラスの壁を一枚設けてセキュリティを万全にするなどの措置が必要となるため、今の段階で意見をいただきたい。また、音響のレベルを考えたときに、残響の面でガラスの壁でどうなのか疑問もあるので、コンサートやライブの規模についてもどの程度を考えているのか教えてほしい。

市長：

- ・現時点で、有料の音楽イベントを行うことは想定していない。

オブザーバー：

- ・了解した。出入り自由のフリースペースとして捉えておく。

部会員：

- ・駅前広場では、駅に向かう通路として確保するために、県道や市道としてホールの一部を使えなくするなどといったことがあるかと思うが、ここではどうなのか。ハピテラスは、そうなっていると思う。

事務局：

- ・ここではそのようなことはない。

- ・全体を通して、オブザーバーよりご意見をいただきたい。

オブザーバー：

- ・いろんなご意見が出ているので、一度整理するとよいと思う。賑わい広場の利活用については、非日常的（休日）な使い方と日常的（平時）な使い方の2つの側面があると思う。非日常的な使い方として皆さんから意見が多かったのは、食をテーマとしたマルシェやマーケットであった。休日に来てくださる方は、都市圏からの観光客が多くなってくると思うので、市民や住民の方が自分たちも楽しみながら、温泉街や金津市街地や北潟や吉崎などに行ってもらい、そこにいる労働者や旅館やお店でモノを買ってもらうなど、休日のイベントを市内で生業を立てている人たちが集約するときの舞台として位置づけられるとよいと思う。日常的な使い方としては、農業者や高齢者の方が中心になるかと思うが、農業者の方は日中仕事をしているので、魅力体感スペースをヒト・モノ・コトをPRできる場として活用し、現場まで足を運んでもらえるように展開できるとよいと思う。そういった意味で、駅を出発地点として本物の生活や現場を見に来てもらうような仕掛けをどう行っていくかが重要になると思う。まずはここを押さえてから先に進むと、コンセプト、テーマ、機能、ターゲットが流れるように整理できて、施設の設備等の細かな話がしやすくなると思う。

部会員：

- ・広場の外にモニュメントをつくるのか。例えば、金沢駅の鼓門など。メディアが取り上げるようなことを想定して、芦原温泉駅を印象付ける何かがあるとおもしろいと思う。福井駅に来た知人が、恐竜のベンチに座って写真を撮ってよくSNSにアップしている。

市長：

- ・モニュメントは予定していない。施設そのものを、和心あふれる空間として、ランドマークとなるモニュメントとして位置づけている。
- ・七夕飾りやクリスマスツリーなど、季節ごとに装飾することは考えている。その際にも、市内の企業のリボンを使うなど、既製品ではなくあわらの素材をつかってあわらしさを出していきたい。

部会員：

- ・駅名が芦原温泉駅だが、温泉らしさをどこで感じられるようにするのか。

市長：

- ・足湯やからくり時計をつくったりしたいが、事業費がかかる話なのでなかなか難しい。

部会員：

- ・例えば、物販店舗や観光案内所で旅館のお茶菓子を出したり、浴衣を着た人がまちを歩いているなど、お金をかけなくても温泉らしさは表現できると思う。

オブザーバー：

- ・温泉ということで水の有機的な流れを表現するために丸みを帯びた柱にしたり、市指定文化財（天然記念物）の大杉をモチーフにしたりと、温泉らしさやあわらしさを表現している。
- ・市長からの提案で、柱の上の部分をぼんぼりに見立てて和のイメージを表現することも今後検討していきたい。

部会長：

- ・夜のイメージ図はあるのか。

オブザーバー：

- ・次回提示させていただく。

部会員：

- ・広場が屋外なので、猛暑の時期のイベント時にミストをやってはどうか。そういったことは可能なのか。

市長：

- ・ハピテラスでもやっているし、いい提案である。利用者の方では是非やってほしい。

事務局：

- ・屋外ではあるが屋根があるので、ある程度は涼しい空間になると思う。

部会員：

- ・昨年、ハピテラスで3 on 3の大会があったが、熱がこもって暑さで選手が倒れて大変だった。終わった後の反省で、風を送るようにした方がよかったなどと話し合ったが、そういった対策はイベントの主催者が講じるべきである。

部会員：

- ・猛暑だけではなく、冬の寒さ対策も重要である。

事務局：

- ・温泉らしさについては、駅舎内でも表現することを検討している。例えば、待合室にのれんを出すなど。

部会員：

- ・夜の賑わいをどう創出していくのか。

事務局：

- ・西口駅前広場ではなく、駅周辺エリアで検討していきたい。

部会員：

- ・昼も夜も使えるキッチンカーがあるといいといった話もあったと思う。

事務局：

- ・広場の運営の時間帯にもよるが、帰宅時間まではそのようなこともできると思う。

市長：

- ・飲食店については、駅前商店街との共存共栄も大切にしながら検討していきたい。

部会員：

- ・屋台村湯けむり横丁のような屋台があるといいと思う。

事務局：

- ・広場内のルールづくりが大切だと思う。昼間もアルコールを売ってよいのか、キッチンカーは何時までいてもよいのかなど、今後検討していかなければならない。

部会員（福井工業大学教授）：

- ・浜町未来酒場という日本酒のイベントに携わったが、朝 10 時半から行列ができて驚いた。食は皆の関心が高い。過去に料理の鉄人という番組があったが、キッチンスタジアムで福井の名産を料理するというイベントができたらおもしろいと思った。

(2) その他

【次回開催日時】

- ・ 7月 29 日(月)19:30～ あわら市役所 101 会議室

4 閉 会

事務局：

- ・ 本日は、駅前広場の利活用について、貴重なご意見、アイデアをいただいた。木下設計と検討を重ね、次回の部会でその結果を提示したい。今後もよろしくお願ひしたい。